

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農業の継続に向けた米の直接販売事業
事業主体 (連絡先)	長瀬の棚田集落協議会
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ハード
総事業費	7,315,000 円 (うち支援金 : 4,876,000 円)

事業内容

長瀬地区は新潟県境に位置し、志久見川を挟んだ対岸では魚沼産コシヒカリを栽培している。地理的条件や米の食味には遜色ないが、県が違うというだけで米の価格が大きく違う。長瀬の棚田集落協議会は、長瀬地区の棚田の振興を図ることを目的として設立され、ワークショップ等で出された意見等を踏まえながら、高齢化に伴う離農者の増加が危ぶまれているなか、農業の体制づくりを図ることが急務となっている。

令和の米騒動で米価は上昇しているが、今後の状況がどうなるか不透明である為、精米施設を整備し、安定して地域の米を直接販売ができる体制づくりを図る。



【新米盛り放題イベント】

【目標・ねらい】

- ① 精米施設の整備
- ② 米の試食会回数 : 1 回
- ③ 米の購入者数 : 9 人

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

稲刈り交流会のイベントに精米施設の稼働が間に合わず、精米施設を利用した新米の提供は出来なかったが、「新米の試食会」と「新米盛り放題イベント」を行った。交流会参加者から新米の味を堪能していただき、新米盛り放題イベントへは交流会参加者全員からチャレンジしていただいた。長瀬地区の米の味を PR 出来たと感じている。

※自己評価 【B】

【理由】

精米施設の整備が間に合わず、稲刈りイベントの参加者の皆さんへ、精米施設を利用したお米を提供できなかったが、試食会等を開催し、お米の味を PR することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

イベント等で長瀬集落へ訪れていただく方へ、米の提供や販売を行っていき、美味しさを知っていただくことで、徐々に販売を拡大していく。

今後はブランド米として販売していくことを目標にして、お米の購入者へ地域や村のイベントなどの情報発信等を行うことにより関係人口の増大を図っていき、地域の賑わいにも繋げていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある